

あだたら

発行所
本松市木ノ根坂
あだたら山の会
編集部

七月八日(日) 箆山下登山道整備一回目

報告 編集部



13時51分、ハンノキ林下で参加者集合写真

八日(日)安達太良山箆山下登山道で整備作業を行った。このルートは勢至平分岐と峰の辻をくぐるがね小屋を経由しないで結ぶルート。峰の辻から二時間弱で奥岳に下山できるので利用

者は多い。傾斜は緩いが、道は水流で扶られ、雨降り直後などは通りにくい。今回の作業では、昼食場所の下では水溜りへの土囊設置と溝登山道脇の余地の刈払いを行って、歩ける場所の



コーヒーは佐藤さんが入れてくれた



土囊袋設置

確保を行った。昼食場所の上では笹の刈払いとハンノキ林内の通過支障木を除去した。天気予報では曇りだった

●編集部連絡先
二本松市木ノ根1-515
0243(22)4245
渡辺 正



八重・白山石楠花です



道幅確保、バイパス

が日射しも時々あり、降られることはなかった。登山道では、渡りをする蝶アサギマダラの食草四つ葉ヒヨドリが開花、黄色や白の苦菜、白山石楠花が開花している。箆山下のルートでは、米ツツジや、とても貴重な「八重」白山石楠花も開花していた。会員七名が参加

安達太良山頂、所謂「乳首のピーク」からの下り道に利用されていた「鉄ばしご」が破損のためこのほど更新され、強化アルミ製の「はしご」に取り替えられた。「鉄ばしご」はいつ設置されたか記録はないが、今の下り道に設置される前には、北側の旧登り道に使用されていた。昭和三十四年に鉄クサリを取り替えた記録があるのでその頃とすると六十年ぶりになる。

当日は猛暑日ではあったが、市役所都市計画課・あだたら山の会から六名が参加し、工具やアルミはしご等の重荷をロープウェイ山頂駅から安達太良山頂まで運び上げた。山頂では鉄はしごを取外し、アルミはしごを設置、岩に固定したボルトにステンレス番線で固定した。下り道にもう一箇所通過困難の段差があったが、そこにもアルミはしごを設置した。登山道ではハクサンシャクナゲはもう終わり大斜面ではコバイケイソウの花盛り、山頂ではコメツツジ、マルバシモツケ



13時7分 交換工事完了

七月十八日(水) 山頂はしご交換

報告 編集部



参加者勢揃い



はしご担ぎ上げ

の花盛りだ。赤とんぼの群が飛び交っているのは例年通り。平日だったが団体客などもおり、登山道整備だとの話聞いて、感謝の言葉を掛けていた。連日猛暑日が続いているが、安達太良山は別世界、山頂でも奥岳でも正に天国で日射しの下でも涼しい。取り外された鉄ばしごは今後登山道整備に活用される。



二箇所目

七月二十一日 (土)

岳下小登山ガイド

報告 編集部



まずは 薬師岳パノラマパークで、山頂も入って

二本松市岳下小学校PTA (瀬戸崇志会長) は、夏休み初日の二十一日(土)安達太良山で恒例の親子ふれあい登山を実施した。午前八時に奥岳登山口に集合、出発式を行ってロープウェイに乗り込んだ。途中の休憩場所では必ず飲み物摂って熱中症対策、大雪田上の二回目の休憩場所では

高山葡萄の実も見付ける事ができた。登山道では黄色のオトギリソウが花盛り。十時五十分には山頂に到着して全員で記念撮影、その後安達太良山での一番の見物、噴火口「沼の平」迄往復した後昼食となった。当日は二本松市内での最高気温は三十五度、しかし奥岳登山口では既に涼しく、山

頂では風もあって、熱中症に罹った人はなく、怪我人も無かった。他にいわき市の小名浜小・泉小も登山に訪れ、山頂や登山道は大混雑、しかし他の学校と山頂での時間などうまく調整できて、逆方向に歩いていく登山者ともうまく道を譲り合って、楽しい登山となった。児童・付添等総員百五十名ほどが参加した。

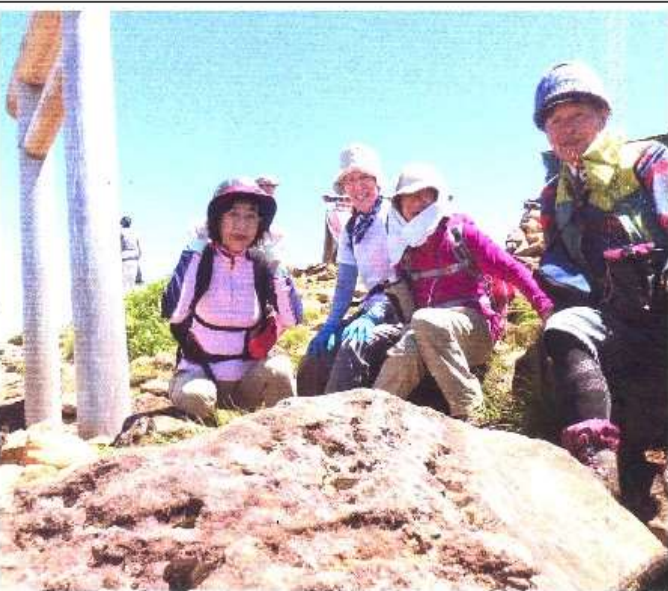


風もなく穏やかだったので、沼の平見に行った



クロマメノキ 高山葡萄

妻と二人で行く計画だったが、花好き友に電話、一緒に貰う事になり楽しい山行になりました。二本松で三七度一分という暑い日、七月十五日(日)六時出発。遠刈田温泉よりエコラインに入る。ガスで時々ライトを点ける。標高一〇〇〇びを越えた所からガスが無くなり、南蔵王の山々、これから行く刈田岳や五色岳の稜線を青空の下にくっきりと見る事ができた。大黒天登山口に着いた



のが八時半。八時五十分今日のコマクサ山行出発となる。途中登山道脇に咲くコマクサやチドリ草など見ながら刈田岳山頂に十時、刈田岳山頂からレストラン前の駐車場まで多くの観光客で賑やかだ。トイレ休憩後目的地のお花畑へ。避難小屋手前斜面のコマクサが群生しており立入禁止のロープがあり、ロープ越しにカメラを向けている人が多い。若い女性から、お花畑に



名号峰コマクサ 会報276号から

個人山行

七月十五日(日)蔵王コマクサ山行

報告 菅野善雄

沢山花が咲いているよとの情報もありお花畑へ。少し降りるので客は少なくカメラマンが何人居る位で静かだ。コマクサは少ない時期遅れ花の色が白く少なかったが、大・小のカブラの群生している所を見るのは始めて。満開の時を考えただけで心がウキウキ。次回は楽しみに、お花畑を後にする。

避難小屋まで戻り熊野岳山頂へ。避難小屋近辺や熊野岳山頂では所狭しと登山客の昼食で賑やかだ。晴天で風も五〜十級。最高!。山頂からは遠く安達太良・吾妻連峰、雪の残る飯豊や朝日連峰・月山など。又向きを変えると面白山や山形・宮城神室山・雁戸山・大東岳そして仙台平野方面は雲海と素晴らしい眺望を楽しみ、また蔵王山の隅々まで見る事ができ、最高の贅沢な山行。大黒天駐車場へ予定より三十分遅れの三時半無事下山。帰り、エコラインは刈田岳へ行く車でまだ渋滞していた。蔵王温泉の大露天風呂のお MAKE 付きの山行、七時三十分無事帰松、幸々、幸の一日であった。